

Press-release/E-flashから

『ITUジャーナル』編集部

Press-release

① 3月8日:

加熱するITU テレコム開催地の選定

ITUテレコムワールド2009、テレコムアメリカ2007、
テレコムヨーロッパ2007

Competition heats up amongst venues to host
ITU TELECOM WORLD 2009, AMERICAS 2007 &
EUROPE 2007

(出典: http://www.itu.int/newsroom/press_releases/2006/03.html)

テレコムワールド2009の開催候補地として、パリ(Le Parc des Expositions)、ジュネーブ(Palexpo)、ドバイ(Jebel Ali Exhibition City)、バーミンガム(National Exhibition Centre)が激しい誘致合戦を繰り広げている。テレコムワールドやテレコムアメリカ、テレコムヨーロッパなどの地域テレコムの開催地やテレコムフォーラムでの講演者は、テレコムボードが各国政府からの支援の大きさや、応札のあった候補地の現地調査、最終提案の内容などを精査した上で、ITU事務総局長に提言し、決定される。3月20日、香港で開催されるITUテレコムボード会合では、テレコムワールド2009、テレコムアメリカ2007及びテレコムヨーロッパ2007の候補地について話し合う予定である。テレコムアメリカ2007の開催地にはブエノスアイレス(アルゼンチン)、モンテゴ・ベイ(ジャマイカ)、サンサルバドル(エルサルバドル)が立候補しており、テレコムヨーロッパ2007の開催地には、ソフィア(ブルガリア)、ブカレスト(ルーマニア)とジュネーブ(スイス)が立候補している。

2006年12月4~8日に香港で開催される予定であるテレコムワールド2006は、ジュネーブ(これまでに9回開催)以外の地域で開催される初めてのテレコムワールドであり、おおよそ2,000人のVIPや800~900社の展示企業の参加が見込まれている。また、その経済効果は約1億5,500万USドルと香港の金融関係者は見ている。

E-flash

② ITU-T e-FLASH No.23 (2月22日):

(出典: <http://www.itu.int/ITU-T/e-flash/023-feb22.html>)

● IPTV調整会合の開催が決まる

IPTV Consultation Meeting Announced

IPTV (Internet Protocol Television) の標準化の可能性を検討する会合が2006年4月4~5日にかけて、TSB (ITU標準化部門) 局長Houlin Zhao氏の招請によりジュネーブで開催される。IPTVは、トリプルプレーの一部を構成する新サービスとして、多くの通信事業者が導入の検討を進めており、ここ数年のうちに急速に導入が進むと予想されている。Zhao局長によれば、ITU-Tがこの分野での標準化活動を促進強化してほしいという要望がITU-Tに多く寄せられており、これら要望にこたえるため、早期の標準化が必要と考えているという。4月の会議では、各国、地域並びにグローバルな観点からのIPTVサービスの現状と課題、各SDO (Standards Development Organization) のこの分野での標準化活動、技術的並びに規制上の課題、ITUの果たすべき役割などが議論される。

● NGN Workshopを米国、Las Vegasで開催

NGN Workshop in Las Vegas, USA

ITU-TとUS Alliance for Telecommunications Industry Solutions (ATIS) は、2006年3月19~20日にかけて米国Las VegasでNGN Workshopを共催する。同ワークショップでは、北米からの観点を意識しつつ、NGN標準の現状、今後必要となる標準化項目の明確化、標準化に携わる関係者相互の協力推進方法などについて議論する。

● NGN GSIイベントで大きな成果上がる

NGN Global Standards Initiative Sees Excellent Progress

NGN標準化のためITU-T SG11、13、15が一堂に会するNGN GSI (NGN Global Standards Initiative) イベントが1月に開催され、数百人のNGN専門家がジュネーブに集まった。会合では、機能アーキテクチャーやRACF (Resource and Admission Control Functions) などの重要な部分で前進があり、RACFに関する勧告は7月のGSIイベントでコンセントされる見込みとなった。

● SMSによるSOS

SOS by SMS

2005年12月上旬に開催されたITU-T SG2において、2つの国際機関に対して、募金活動を目的とする、高収入SMS国際番号を付与することが合意された。この合意を受けて、TSB局長が決定した後、番号がITU-Tオペレーショナルプレティンに掲載される。2つの国際機関はUNICEF (United Nations International Children Emergency Fund) とIFRC (International Federation of the Red Cross and Red Crescent Societies) で、付与された番号は +979 0767である。この番号を用いることにより、両機関は、災害発生時などに国境を越えた募金活動を行うことができるようになる。“767” はダイヤルキー上で“SOS”である。

SMSによる募金は、2003年のイランBamの地震や2004年のアジアの津波災害以来、一般的になってきている。

● 市販ソフトウェアに関する新しい標準化作業の開始

New Off the Shelf Software Standardization Work to Start

ITU-T SG13は、市販ソフトウェア (COTS: Commercial Off-The-shelf Software) に関する新しい研究課題 (Question) の検討を開始する。COTSには、運用コストを押し下げる可能性があるものの、標準化されていないため、ライセンス費用や製品の変更、あるいは、これらを相互に接続して使おうとする場合にコストがかかるという問題があった。新課題のタイトルは、「COTSをオープン環境下で用いることができるようにするための要求条件と枠組み」で、NGNの中でCOTSを利用するためのオープンインタフェースと標準を明らかにすることが目的である。この課題は、OCAF (The Open Communications Architecture Forum) からの提案により作成された。課題の正式承認はTSAGのレビューと2006年7月のSG13での承認を待つ必要があるが、実質的検討は既に開始されている。

● トップレベルドメイン「.int」への登録方法

Procedures for Registration with the Top Level Domain .int

ITU-T SG2は、2005年12月に開催された会合で、トップレベルドメイン.intへの登録方法を規定した、ITU-T勧告E.910を承認した。同勧告ではまた、.intドメインを申請できる国際機関が満足すべき基準を明らかにしている。

● IPを介して電話音声の中継が可能に

Standard Gives Voice Trunking Over IP

2006年1月に開催されたITU-T SG13会合で、勧告Y.1452がコンセントされた。同勧告は、複数の音声ストリーム若しくはVoIPフローを、回線交換ネットワークではなくパケット交換ネットワークを介して中継することを可能にする。これにより、事業者はIPネットワークの効率性と速度の便益を享受できるようになる。

● NGNでTDMが使えるようになる

New Rec Gives TDM Support in NGN

ITU-T SG13は勧告Y.1453 (ユーザープレーンインターネットワークメカニズム並びにインターワーキング用コネクション多重化とその手順) をコンセントした。同勧告は、IPベースのNGNにおいて、TDM (Time Division Multiplexing) とIPネットワークのインターワークをするために必要な機能を規定するものである。TDMは既存網で広く利用されている多重化技術であり、NGNにおいてもこれが引き続きサポートされることが必須である。

● ウェビナー (オンラインセミナー) がアーカイブから見られる

Webinar Available in Archive

1月23日に、ITUとLight Readingsが共催した次世代通信ネットワーク (NGN) に関するオンラインセミナーの様子 (スライド、音声、質疑応答セッションの様様) をLight Readings社のアーカイブ (http://www.lightreading.com/webinar_archives.asp) から見られる。当日は、約400人が参加し、100件近くの質問が寄せられた。

● イーサネットのパフォーマンス管理を可能とする新勧告が完成

Operators Given Performance Management For Ethernet With New Standard

イーサネットサービスを提供する事業者が、ネットワーク運用や故障切り分けを容易にできるよう、OAM

(保守・運用・管理)機能を利用可能にするための新勧告が作成された。イーサネットサービスは、単純かつ経済的なユーザーインタフェースで柔軟なサービスを提供できるため、近年、ポピュラーなものとなってきている。しかし、イーサネットにおいては、OAM機能が標準化されていなかったため、通信事業者は、エンド-エンドサービスをイーサネットで提供するのに不安を感じていた。新勧告Y.1731は、イーサネットネットワークの中で故障管理(故障位置特定、故障検出など)と特性監視(誤り検出、遅延測定など)を可能にするために必要なOAM機能を規定している。

③ ITU-D e-FLASH No.18 (3月7日):

(出典: http://www.itu.int/itu-d/e-flash/2006/march_WTDC-06.html)

●緊急時通信～電気通信開発の重要な目的

Emergency Telecommunications - A key element of telecommunication development

自然災害、紛争等の続発に伴い、緊急時通信の重要性が増している。災害時に備えた早期警戒システムや素早い救援を可能とするシステムを構築していくには、ICT基盤の整備が必要である。WTDC-06では、災害等の緊急時における通信の在り方について、国際間、地域レベル、国レベルの各レベルにおいてITUが大きな役割を果たすよう求める寄与文書が各国より提出されている。また、ITUは3月8日17:45からWTDC-06の中で、災害対策とICTに関するインフォメーションセッションを開く予定である。

●ICT規制ツールキット～規制改革を促進

ICT Regulation Toolkit - A catalyst for Regulatory Reform

ITUは、世界銀行がまとめているマルチドナープログラムの一環として、InfoDevと共同でWebベースの情報通信規制ツールキットのサービスを開始した。本ツールキットは、社会のICT化に伴う情報通信の新技术やサービスが急増している現在、開発途上国のICTの規制に関する具体的なアドバイスや最適な解決手法を提供し、開発途上国の規制改革を促進するものである。ITUは、3月8日17:00からWTDC-06において、本ツールキットの使い方を紹介するインフォメーションセッションを開く予定である。

●サイバーセキュリティ～ICTアプリケーション利用時の信頼感とセキュリティの確保

Cybersecurity-Building confidence and security in the use of ICT applications

サイバーセキュリティは情報社会の発展のためには欠くことのできないものである。ITUは、3月10日17:00からWTDC-06において、サイバーセキュリティの重要性、開発途上国が直面している状況などに関するインフォメーションセッションを予定しており、開発途上国向けのサイバーセキュリティに関する出版を含めたITUのE戦略イニシアティブについても紹介する。

●周波数管理システム

Spectrum management

無線を使った通信システムは、辺境地域との通信路開設に非常に有効であるが、辺境地域や多くの最貧国では無線周波数をうまく利用できていないところが多い。ITUでは、ITU勧告に基づいた遠隔地域のための周波数管理システム(SMS4DC)を開発し、現在無料で提供しているが、一層の利用促進を図るため、WTDC-06の期間中3月13日17:00から周波数管理に関するインフォメーションセッションを開き、デモを行う予定である。

●ITU、電気通信リフォームの動向：ブロードバンドに対する規制を発行

ITU launched Trends in Telecommunication Reform: Regulating in a broadband world

ITUは、“Trends in Telecommunication Reform 2006: Regulating in a broadband world”(第7版)を発行した。本報告書は、動きの早いICT市場及び規制についての動向をまとめたものであり、ブロードバンド技術、ブロードバンド開発のための規制機関の役割、無線ブロードバンドの周波数管理、VoIPに対する規制、国際的なスパム対策などについて記載されている。

●ITU、情報社会への進展度の指標となる“World Telecommunication/ICT Development Report 2006”を発行

ITU released World Telecommunication/ICT Development Report 2006 to measure the Information Society

ITUは、“World Telecommunication/ICT Development Report 2006 on Measuring ICT for Social and Economic Development”の第8版を発行した。今回、WTDC-06に合わせて発行したものであるが、社会・経済の発展にICTがいかに影響を与えているかの評価及び世界的なICT開発の概要、などを掲載している。また、このレポートは、WSISチュニスアジェンダ(パラグラフ113)にある“国際的な開発目標の達成に向けたICTの利用状況の把握”にも寄与するものである。